

平成24年度
第2回高松市牟礼地区地域審議会
会議録

と き：平成24年11月21日（水）

と ころ：高松市牟礼支所 東館2階 第1会議室

平成24年度 第2回高松市牟礼地区地域審議会 会議録

1 日時

平成24年11月21日（水） 午前10時開会・午前10時57分閉会

2 場所

高松市牟礼支所 東館2階 第1会議室

3 出席委員 15人

会長	三野重忠		委員	多田寿美
副会長	奥谷義明		委員	中村泰子
委員	大林良博		委員	中山忠彦
委員	小田幸子		委員	林佳子
委員	落合賢		委員	松浦隆行
委員	川田ヒロミ		委員	松原伊早恵
委員	川浪正二		委員	御城俊宏
委員	坂本英之			

4 欠席委員 なし

5 行政関係者 18人

市民政策局長	加藤昭彦		観光交流課長補佐	一原玄子
政策課主幹	多田安寛		観光交流課主任主事	岩崎幸二
地域政策課長	佐々木和也		スポーツ振興課長	永正千里
地域政策課長補佐	水田浩義		スポーツ振興課長補佐	
地域政策課地域振興係長				佐藤雅彦
	黒川桂吾		都市整備局次長	道路課長事務取扱

危機管理課長補佐	香西修武			石垣恵三
子育て支援課長	鍋嶋武志	道路課長補佐		大西恵三
子育て支援課長補佐	橋本京子	道路課主査		石川洋毅
商工労政課長	上枝直樹	保健体育課長		田中光
商工労政課長補佐	佐野忠雄			

6 事務局（牟礼支所） 3人

支所長	黒川正俊	管理係副主幹		白井一美
支所長補佐	管理係長事務取扱 畑本和也			

7 オブザーバー 2人

高松市議会議員	井上孝志	高松市議会議員		三野ハル子
---------	------	---------	--	-------

8 傍聴者 なし

会 議 次 第

1 開会

2 会議録署名委員の指名

3 議事

(1) 報告事項

ア 合併基本計画に係る平成23年度事業の実施状況について

イ 牟礼地区3児童館の廃止およびはらこども園内子育て支援センターの開設について

(2) 協議事項

ア 合併基本計画に係る平成25年度および26年度の実施事業に関する意見に対する対応方針について

4 その他

5 閉会

午前10時 開会

会議次第1 開会

○事務局（畑本支所長補佐） お待たせいたしました。予定の時刻がまいりましたので、ただいまから、平成24年度第2回高松市牟礼地区地域審議会を開会いたします。

委員の皆様には、何かと御多忙中のところ御出席をいただきまして、誠にありがとうございます。

議事に入りますまでの間、本地域審議会の事務局として、私、畑本が進行させていただきますので、よろしくお願いを申しあげます。

初めに、開会に当たりまして、三野会長より、御挨拶を申しあげます。

○三野会長 開会に当たり、一言、御礼の御挨拶を申しあげます。委員の皆様におかれましては、師走を目の前に控え、大変御多忙のところ、地域審議会に御出席いただきまして、ありがとうございます。

今日の地域審議会は、御案内のとおり案件で審議を進めてまいりますので、御協力の程、よろしくお願いいたします。

また、当局の皆様方におかれましては、12月の高松市議会を目前に控えて、来期の予算編成等で大変御多忙のところ、お越しいただきまして、ありがとうございます。

これからの審議の中で、各委員の皆様方からいろいろな御質問、あるいは御意見が出ようかと思っておりますけれども、どうか御回答の程、よろしくお願いいたします。

また、今日は大変御多忙のところ、オブザーバーとして御出席いただきました井上市議、三野市議、この席からではございますが、御礼を申しあげたいと思います。今後も高松市の更なる発展のために御指導いただきますよう、よろしくお願いいたします。

ところで、皆さんも御承知のとおり、この地球上の人口でございますが、約70億人と言われております。今から50年前の1960年代では、世界の総人口が30億人であったのが、この半世紀でなんと40億人も増えているところでございます。ドイツの人口が8千万人ですから、この50年間でドイツが50個出来た計算になります。

特に、新興国と言われる中国、インド、ブラジル、あるいは南アフリカ、ロシア、その中でも中国とインドが世界の総人口の37%を占めています。

その反面、日本を始め、ヨーロッパの一部では、人口が減少しているというアンバランスが生じております。人口が増えることによって環境問題、燃料問題、食料問題、水の問題等があらこちらで起きております。それぞれの国で人口問題を議論する必要があるのではないかと、そのような気がいたしましたので開会の挨拶に入れさせていただきました。

今日は、お忙しいとは思いますが、どうか御審議の程、よろしく願いいたしまして、開会の御挨拶に代えさせていただきます。

皆様、早朝から本当に御苦勞様でございます。

○事務局（畑本支所長補佐） ありがとうございます。

ただいま、三野会長からも御紹介がありました。今日は、高松市議会議員であります、井上市議、三野市議にもオブザーバーとして御出席をいただいておりますので、併せて、よろしく願いいたします。

ここで、会議に入ります前に、会議の進行等につきまして皆様にお願がございます。

本地域審議会の会議につきましては、会議録を作成することとなっておりますので、御発言をされる場合には、まず、議長の許可を得た後、恐れ入りますが、お手元のマイクのスイッチを押していただき、お名前を先に申し出ていただいてから、御発言をされますよう、お願いを申しあげます。

それでは、本審議会協議第7条第3項の規定に基づきまして、会議の議長を務めていただきます三野会長に、これ以後の議事進行をよろしく願いいたします。

○議長（三野会長） これより議長を務めさせていただきますので、皆様方の御協力をよろしく願いいたします。

まず、本日の委員の出席状況でございますが、全員の出席をいただいておりますので、本審議会協議第7条第4項の規定に基づきまして、この会議は成立いたしておりますことを御報告いたします。

会議次第2 会議録署名委員の指名

○議長（三野会長） 続きまして、会議次第2の「会議録署名委員の指名」でございますが、会議録の署名委員につきましては、本地域審議会の名簿順にお願いをいたしております。

本日の会議録署名委員には、川浪正二委員さんと坂本英之委員さんのお二人にお願いをしたいと思いますので、よろしく願いいたします。

会議次第3 議事

○議長（三野会長） 続きますので、会議次第3の「議事」に入ります。

本日の議事でございますが、次第のとおり、報告事項2件と協議事項1件でございます。

会議の進行でございますが、案件ごとに担当部局より御報告をいただき、終了後に、1案件ごとに御質問、御意見をお受けいたしたいと存じます。

なお、時間も限られておりますので、御質問、御答弁につきましては、簡潔にお願いいたします。

(1) 報告事項

ア 合併基本計画に係る平成23年度事業の実施状況について

○議長（三野会長） それでは、報告事項アの合併基本計画に係る平成23年度事業の実施状況についてを議題といたします。

担当部局の地域政策課から御報告をお願いいたします。

○佐々木地域政策課長 議長。

○議長（三野会長） はい、佐々木地域政策課長。

○佐々木地域政策課長 地域政策課の佐々木でございます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

私以降、職員の説明につきましては、座って説明させていただきますので、御了承を賜りたいと思います。

それでは、報告事項アの合併基本計画に係る平成23年度事業の実施状況につきまして、御説明をさせていただきます。

お手元の資料、H24-2-①の合併基本計画に係る平成23年度事業の実施状況調書（牟礼地区のみの事業）を御覧ください。

この資料でございますが、一番左側のまちづくりの基本目標といたしまして、「連帯のまちづくり」から「参加のまちづくり」まで、5つの基本目標ごとに、施策の方向、施策項目、事業名、23年度事業の実施状況を記載し、平成23年度の予算現額と決算額を対比させるとともに、24年度へ繰り越した事業につきましては、その額と事業の概要を記載しており

ます。

時間の関係もございますので、逐一の説明は省略させていただきますが、主な事業の平成23年度決算額を申しあげますと、まちづくりの基本目標の「連帯のまちづくり」では、特別保育といたしまして、延長保育、障がい児保育、一時預かり事業、地域子育て推進事業、世代間交流事業、障がい児ふれあい事業、保育体験事業の1,879万5千円でございます。

次に、「循環のまちづくり」では、水道管網の整備といたしまして、配水管の布設（下水）、老朽ビニル管の更新の5,012万8千円、下水道汚水施設の整備（東部処理区）といたしまして、汚水管渠工事の2,540万6千円、ポンプ場の整備（下水）といたしまして、牟礼雨水ポンプ場改築工事の1億2,076万1千円、ポンプ場・中継ポンプ場運転管理（下水）といたしまして、2,668万4千円、牟礼浄化苑施設整備といたしまして、牟礼浄化苑最終沈殿池設備改築工事その2の2億1,368万9千円、牟礼浄化苑運営管理といたしまして、1億4,456万6千円でございます。

「連携のまちづくり」では、ポンプ場の整備（浸水対策）といたしまして、宮北川ポンプ場（電気設備・配管工事）の2,176万5千円、河川の改修といたしまして、宮北川改修工事の2,582万2千円、支所の耐震化・コミュニティセンター等の新築といたしまして、牟礼支所・コミュニティセンター等建設工事の7,761万9千円でございます。

裏面を御覧ください。

公民館の耐震化といたしまして、牟礼公民館耐震化等の工事の実施の1億604万6千円、石の民俗資料館の運営・充実といたしまして、施設の維持管理、常設展示の充実、企画展の開催、各種教育普及事業の実施の2,632万9千円でございます。

「交流のまちづくり」では、市道の整備といたしまして、宮ノ前川原線道路改良工事他3路線の2,778万2千円でございます。

「参加のまちづくり」では、地域審議会の開催といたしまして、33万8千円でございます。

以上、「連帯のまちづくり」から「参加のまちづくり」までの決算額を合わせまして、総額で、9億2,861万5千円を、平成23年度において執行いたしております。

また、平成24年度への繰越額の欄に記入のある事業につきましては、平成23年度内の事業の完了に向けて、鋭意、取り組んでまいりましたが、結果として、年度を繰り越して事業の実施を図る事情が生じたものでございまして、その総額は、2億6,622万2千円となっております。

以上が平成23年度事業の実施状況でございます。よろしくお願い申し上げます。

○議長（三野会長） どうもありがとうございました。

佐々木課長の報告が終わりましたので、これより質疑に入ります。御質問、御意見等がございましたら、御発言を願います。

○松浦委員 議長。

○議長（三野会長） はい、松浦委員。

○松浦委員 松浦でございます。

「循環のまちづくり」の一番下の行ですが、牟礼道の駅物販施設等の整備ということで、設計業務委託の477万8千円が全額繰越となっておりますので、現在の状況をお知らせいたしたいのと、その内容の御説明をいただけたらと思います。

○一原観光交流課長補佐 議長。

○議長（三野会長） はい、一原観光交流課長補佐。

○一原観光交流課長補佐 観光交流課の一原でございます。よろしくお願いいたします。

道の駅むれの増築工事でございますが、こちらの繰越となりました理由といたしましては、本体の道の駅が木造で設計されておまして、こちらに接した形で増築工事を行うことになりましたことから、本体の強度の補強設計が新たに必要となり、昨年度の予算では想定をしておりませんでしたので、こちらの増額と新たな業務のための委託期間が長くなったことによりまして、24年度に繰越を行い、今年の7月に設計を終えたところでございます。

こちらの工事の現状につきましては、この設計を受けて9月補正で工事費の計上をいたしまして、24年度と25年度で工事を行うこととしております。完成の時期は、平成25年5月末を予定して行っておりますが、現在は工事の発注する段階になっております。

工事の内容の一つは、産直施設の増築でございます。道の駅の産直施設が手狭なことと、直射日光が入ることから商品が傷むという御意見がございましたので、この部分の外側に増築をいたしまして、使いやすい広い産直施設の設置を考えております。

もう一つが、倉庫の設置でございます。現在は建物の海側に倉庫をいくつか設置して凌いでいるところで、露天になっているものもありますので、食材用のものも含めた倉庫を造ろうと考えております。外観につきましては、本体となるべく差異がないように、同じような和風の建物を造る予定にしております。

以上でございます。

○議長（三野会長） はい、ありがとうございました。松浦委員さん、よろしいでしょうか。

○松浦委員 はい。

○議長（三野会長） 他にございませんか。

○議長（三野会長） 無いようでございますので、報告事項アの合併基本計画に係る平成23年度事業の実施状況につきましては、これで終わらせていただきます。

イ 牟礼地区3児童館の廃止およびはらこども園内子育て支援センターの開設について

○議長（三野会長） 続きまして、報告事項イの牟礼地区3児童館の廃止およびはらこども園内子育て支援センターの開設について、担当の子育て支援課より御報告をお願いいたします。

○鍋嶋子育て支援課長 議長。

○議長（三野会長） はい、鍋嶋子育て支援課長。

○鍋嶋子育て支援課長 子育て支援課の鍋嶋でございます。

牟礼の3児童館につきましては、平成22年度牟礼地区地域審議会第2回会議において、老朽化が著しいとして、廃止について御説明をしたところでございますが、はらこども園に設置する子育て支援センターの準備も順調に進んでいることから、予定どおり平成24年度末をもって廃止するものです。

なお、児童館事業の廃止に伴い、子育て支援サービスの充実を図るため、平成25年度から、はらこども園内遊戯室において子育て支援センターを開設しますが、子育て全般に関する専門的な支援を行う施設として、乳幼児のいる子育て中の親子の交流や育児相談、地域の子育て情報の提供、子育ておよび子育て支援に関する講習等を実施するほか、読み聞かせなどの子育て支援活動を行う団体等と連携した活動も展開することとしており、開館は週5日で、月曜日から金曜日を予定しております。

開館時間につきましては、午後1時から3時までが、はらこども園の園児のお昼寝時間となりますことから、午前9時から正午までと午後3時から5時までを予定しております。

なお、牟礼・牟礼南児童館に併設して実施している放課後児童クラブについては、学校敷地内にプレハブを建設しており、平成25年度に移転する予定でございます。

また、牟礼北児童館については、放課後児童クラブの建設予定地についての協議が現時点で整っておらず、まとも次第、放課後児童クラブ用のプレハブを新築する予定でございます。

すが、協議が整うまでの間は、現施設を放課後児童クラブとして従来どおり利用して、児童館としての機能は今年度末をもって廃止するものです。

以上でございます。

○議長（三野会長） どうもありがとうございました。

御報告が終わりましたので、これより質疑に入ります。報告事項イの牟礼地区3児童館の廃止およびはらこども園内子育て支援センターの開設について、御質問、御意見等がございましたら、御発言をお願いいたします。

○多田委員 議長。

○議長（三野会長） はい、多田委員。

○多田委員 多田でございます。

ただいま御報告を頂いたように、子育て支援センターの開設に当たって、施設、内容等で充実を図っていただいていることに対しまして、御礼を申し上げます。

2点、質問をさせていただきます。25年度より子育て支援センターの利用が開始になることに伴い、こども園の利用者の方の駐車場の問題が出てこようかと思いますが、この利用者の方の駐車場について、どのようなお考えでしょうか。

あと一つは、子育て支援センターを利用する方は、はらこども園園舎の東側通路を通過して利用されると思いますが、雨天時の対策についてはどのように考えておられるのか、御質問いたします。

○鍋嶋子育て支援課長 議長。

○議長（三野会長） はい、鍋嶋子育て支援課長。

○鍋嶋子育て支援課長 多田委員さんの御質問に対しまして、お答えいたします。

子育て支援センターを利用される方の駐車場につきましては、初年度は、現在、はらこども園内において実施している地域子育て推進事業と同程度の利用を見込んでおりますので、現在と同様に、こども園の駐車場を利用させていただきたいと存じます。

なお、来年度に牟礼南児童館につきましては解体工事をいたしますので、解体が終わりました跡地につきましては、駐車場としての御利用もいただけるものと考えております。

また、雨天時の対策につきましては、屋根は設ける予定はございませんが、こども園園舎東側通路のコンクリートの上にカラーゴムチップ舗装を施し、滑りにくい構造とさせていただきまして、万が一、お子様がこけたりしても怪我のないように対策を講じる予定でございます。

以上でございます。

○議長（三野会長） はい、多田委員さん、よろしいでしょうか。

○多田委員 ありがとうございます。今後、実際に子育て支援センターとして利用が始まりますと予想のつかない事態というのも出てこようかと思えます。駐車場の利用につきましても時間が早くなると伺いました。その辺りの混乱も出てこようかと思えますので、いろいろ課題が見られたときには、是非、改善とか対策をお願いしたらと思えます。

○鍋嶋子育て支援課長 議長。

○議長（三野会長） はい、鍋嶋子育て支援課長。

○鍋嶋子育て支援課長 先ほども申しましたように、牟礼南児童館の解体が終わりましたらその土地が更地になります。たちまち売却とか処分は考えておりませんので、駐車場の御利用もいただけるものと考えております。

以上でございます。

○議長（三野会長） 他にございませんか。

○議長（三野会長） 特段、無いようでございますので、報告事項イの牟礼地区3児童館の廃止およびはらこども園内子育て支援センターの開設については、これで終わらせていただきます。

(2) 協議事項

ア 合併基本計画に係る平成25年度および26年度の実施事業に関する意見に対する対応方針について

○議長（三野会長） 続きまして、(2)協議事項アの合併基本計画に係る平成25年度および26年度の実施事業に関する意見に対する対応方針についてを議題といたします。

この事案につきましては、去る7月20日に本地域審議会から高松市長に意見を提出いたしており、本日、その意見に対する市の対応方針について御説明をいただきます。

なお、時間の関係もございますので、御質問、御意見等につきましては、簡潔にお願いいたします。

それでは、担当部局より、順次、説明をお願いいたしますが、最初に地域政策課から総括の御説明をいただき、その後、引き続いて個別説明をお願いしたいと思います。

それでは、地域政策課からお願いいたします。

○佐々木地域政策課長 議長。

○議長（三野会長） はい、佐々木地域政策課長。

○佐々木地域政策課長 地域政策課の佐々木でございます。

それでは、(2)協議事項アの合併基本計画に係る平成25年度および26年度の実施事業に関する意見に対する対応方針につきまして、御説明をさせていただきます。

お手元の資料、H24-2-②を御覧ください。この対応調書につきましては、本年5月25日に開催されました第1回地域審議会で取りまとめをお願いし、7月20日に御提出いただきました合併基本計画に係る平成25年度および26年度の実施事業に関する意見に対する対応方針を整理したものでございます。

それでは、項目順に従いまして、それぞれ所管をしております担当部局から、順次、御説明をさせていただきますので、よろしくお願いいいたします。

○議長（三野会長） それでは、個別の御説明ということで、まず、項目番号1、防災教育指導者の育成について、保健体育課からの御説明を求めます。

○田中保健体育課長 議長。

○議長（三野会長） はい、田中保健体育課長。

○田中保健体育課長 保健体育課の田中でございます。よろしくお願いいいたします。

項目番号1の防災教育指導者の育成についてでございますが、学校における防災教育推進のための教員の育成につきましては、現在、各学校の校内研修等におきまして、各教科および道徳の時間等で子どもに指導する内容の検討や各学校で備えております危機管理マニュアルの作成・避難訓練の実施方法の検討を行い、その過程におきまして教員の防災意識・知識の向上を図っております。

また、本市教育委員会では、教員の危機管理の啓発、実効性のある学校安全計画の作成方法の習得などを目的といたしまして、年2回の学校安全管理研修会を行っております。

今後につきましても、校長・教頭研修会などを通じまして、危機管理意識の高揚を図るとともに、管理職としての的確な判断のもと、迅速な対応が行えるよう、教員の資質向上に努めてまいりたいと存じます。

さらに、牟礼地区でも行っていただいていると思いますが、地域と共に行います防災訓練の場におきまして、より現実的な実践力が身に付けられると考えられますことから、学校としてそこに積極的な参加を促してまいりたいと存じます。

以上でございます。

○議長（三野会長） はい、ありがとうございました。

続きまして、項目番号2、地域防災リーダーの育成について、それから項目番号3の津波に対する市民の防災意識向上への取組について、項目番号4の防災行政無線デジタル化後の一般放送の継続について、これらについては危機管理課から御説明を求めたいと思います。

○香西危機管理課長補佐 議長。

○議長（三野会長） はい、香西危機管理課長補佐。

○香西危機管理課長補佐 危機管理課の香西でございます。よろしくお願いいたします。

項目番号2の地域防災リーダーの育成につきまして御説明させていただきます。

平成17年度から地域防災リーダー育成セミナーを開催しており、また、22年度からは防災士育成事業補助制度を設けておりまして、本市としても地域で活動する防災士の育成に努めております。

大規模災害時には、地域コミュニティの皆さんが中心となり、避難所の開設・運営等を自主的に行えるよう、地域の防災力向上を重要課題として取り組んでいるところでございます。

「自分たちの命は、自分で守る」を合言葉に、今後も地域の防災リーダーや防災士の育成に、積極的に取り組んでまいりたいと存じます。

続きまして、項目番号3の津波に対する市民の防災意識向上への取組について御説明いたします。

津波被害につきましては、津波高と土地の標高との関係に加え、地形などの関係もありますことから、本市では、津波浸水域や浸水深の香川県の想定（平成17年度公表）や、津波避難ビル情報を市民の皆さんに周知するため、津波避難ビルマップを作成し、本年11月より指定施設や沿岸部の市有施設等に掲示することとしております。なお、このマップにつきましては、今後、新たな被害想定が公表され次第、改正することとしております。

続きまして、項目番号4の防災行政無線デジタル化後の一般放送の継続についてを御説明いたします。

牟礼地区におけるアナログ式防災行政無線からデジタル式防災行政無線への更新後も、現在のアナログ式戸別受信機を活用した一般放送につきましては、当分の間、使用できる状態でございます。

なお、25年度の更新時には、今後の切替のために新たな放送設備を整備する計画でございます。

以上3点について御説明申しあげました。

○議長（三野会長） はい、ありがとうございました。

続きまして、項目番号5の県道三木牟礼線の整備についてと項目番号6の市道屋島線（高橋）の改修および国道11号へのアクセス強化事業の推進については、道路課から御説明を求めたいと思います。

○石垣都市整備局次長 議長。

○議長（三野会長） はい、石垣都市整備局次長。

○石垣都市整備局次長 道路課の石垣でございます。よろしくお願いいたします。

項目番号5の県道三木牟礼線の整備でございます。この路線の進捗状況でございますが、県に確認しましたところ、この路線は平成13年度から着手し、平成23年度末現在の事業費ベースの進捗率は約55%ということで、今年度も引き続き、残る用地補償物件について交渉を行うと伺っておりまして、市といたしましては、引き続き、早期に整備が図られるよう、県に対して要望してまいりたいと存じます。

それから、項目番号6の市道屋島線（高橋）の改修および国道11号へのアクセス強化事業の推進についてでございます。まず、国道11号へのアクセス強化事業につきましては、県道牟礼中新線と国道11号が交差いたします高松町交差点での交通渋滞を緩和するため、これまで警察と協議を行い、その東側に位置いたしますバイパス角屋交差点において、国道11号へ出る際の青の信号時間を延長するなどの対応を行っておりまして、国道11号へのアクセス向上に一定の効果が確認できましたことから、同交差点と接続する市道明神永之谷線の2車線への改良を行うため、現在、測量を実施しているところでございます。

また、高橋につきましては、橋本体の補修とともに通行時の歩行者等の安全性を確保するため、現在の幅員4.0メートルから5.0メートルに拡幅する工事を発注することとしておりまして、施工業者が12月に決定する予定という状況でございます。

以上でございます。

○議長（三野会長） はい、ありがとうございました。

続きまして、項目番号7の高松市スポーツ振興基本計画の見直しと総合型地域スポーツクラブの育成について、スポーツ振興課から御説明を求めたいと思います。

○永正スポーツ振興課長 議長。

○議長（三野会長） はい、永正スポーツ振興課長。

○永正スポーツ振興課長 スポーツ振興課の永正でございます。

項目番号7の高松市スポーツ振興基本計画の見直しと総合型地域スポーツクラブの育成で

ございますが、現在の高松市スポーツ振興基本計画の計画期間は、平成22年度から27年度までとなっており、平成28年度からの次期計画を平成27年度中に策定する予定としておりますので、現時点では、現行計画の見直しは予定しておりません。

また、次期計画を策定することについては、文部科学省が平成24年3月に策定したスポーツ基本計画の内容と整合性を図る中で、総合型地域スポーツクラブの育成・支援を検討していくこととしてまいります。

よろしく願いいたします。

○議長（三野会長） はい、ありがとうございました。

これですべの説明が終わりましたので、ただいまから質疑に入ります。御質問、御意見がございましたら御発言をお願いしたいと思います。

○小田委員 議長。

○議長（三野会長） はい、小田委員。

○小田委員 小田でございます。

項目番号2の防災リーダーにつきまして、御質問をしたいと思います。高松市では何名の防災士がおられて、牟礼町では何名おられるのでしょうか。

○香西危機管理課長補佐 議長。

○議長（三野会長） はい、香西危機管理課長補佐。

○香西危機管理課長補佐 危機管理課の香西でございます。

現在、高松市内の防災士の総数につきましては、平成23年度末現在で221人おられます。

高松市としましては、平成22年度から防災士育成補助事業制度を設けておりまして、資格の取得にかかる全額補助を行っております。平成22年度は17人、平成23年度は38人の方が、この制度を活用して防災士の資格を取得されました。そのうち牟礼地区の方の取得者は、おられませんでした。

以上でございます。

○議長（三野会長） 小田委員、よろしいですか。

○小田委員 牟礼町としても0人では寂しいので、今後、牟礼町にも防災士を募っていただいて、防災士の資格者を増やしていただきたいと思います。

○香西危機管理課長補佐 議長。

○議長（三野会長） はい、香西危機管理課長補佐。

○香西危機管理課長補佐 危機管理課の香西でございます。

本年度ですが、香川大学で行われる防災士の受講制度を活用する中で、牟礼の方が1名受講されるということをお聞きしております。その試験に合格すれば、牟礼町に1名の防災士が誕生する運びになります。今後、高松市といたしましても啓発活動を行っていきながら普及していきたいと思っております。

○小田委員 よろしく願いいたします。

○議長（三野会長） 他にございますか。

○松浦委員 議長。

○議長（三野会長） はい、松浦委員。

○松浦委員 松浦です。

項目番号3と4について、二つの質問をさせていただきたいと思っております。

まず、項目番号3の津波に対する市民の防災意識向上への取組でございますが、先般、私どもが御提案させていただいたのは、海拔表示シートをこの牟礼地域の中に設置してはいかがですかという提案でございました。それで、その回答をまだ頂いていないと感じております。

それと津波避難ビルマップの件でございますが、津波避難ビルマップを掲示するという御回答をいただいておりますが、その掲示をする場所と件数については、地域の意見を聴いて設置されているのかどうかをお聞かせ願います。

次に、項目番号4の防災行政無線デジタル化ですけれども、当分の間と御回答を頂いておりますが、当分の間とはいつまでを想定されているのか、また、牟礼地域における防災行政無線は、一般放送のウエイトが非常に高いので、デジタル化した場合に、その行政無線という部分を継続していただけるのかというところを御質問させていただきたいと思っております。

○議長（三野会長） はい、ありがとうございます。お答えをお願いしたいと思います。

○香西危機管理課長補佐 議長。

○議長（三野会長） はい、香西危機管理課長補佐。

○香西危機管理課長補佐 危機管理課の香西でございます。

海拔表示板につきましては、現在のところ高松市といたしましては検討しておりません。本市といたしましては、浸水域および浸水深の情報が重要と考えておりますことから、津波避難ビルマップとして浸水域および浸水深の津波避難ビルの情報を随時掲示しているところでございます。

これは、市内100箇所を想定しておりまして、この牟礼地区の設置場所につきましては、津波避難ビルと支所に設置する予定でございます。今後、設置場所について、皆様方の分かりやすい場所がございましたら検討してまいりたいと存じます。

それともう1点、防災行政無線デジタル化後の一般放送の継続についてでございますが、現在、使用中のアナログ式防災行政無線につきましては、四国総合通信局と協議を行いまし、平成29年度までの使用ができることとなっております。5年ごとの更新ですので、その後につきましては四国総合通信局との協議になりますが、現時点では、平成29年度までの利用は可能ということでございます。

今後、デジタル式への移行に合わせまして、地域への新しい放送体系を検討しておりますが、デジタル式への移行後も行政放送ができるシステムの構築を考えております。

以上でございます。

○議長（三野会長） はい、松浦委員さん、よろしいでしょうか。

○松浦委員 はい。

○議長（三野会長） 他にございますか。

○落合委員 議長。

○議長（三野会長） はい、落合委員。

○落合委員 落合です。よろしくお願いいたします。

項目番号7の高松市スポーツ振興基本計画の見直しと総合型スポーツクラブの育成について、質問させていただきます。平成27年度中に次期基本計画を策定する予定ですが、国の策定した基本計画に反することなく、必ず、整合性を図って、総合型スポーツクラブの育成、支援策の改善に取り組んでいただきたいと思います。

○議長（三野会長） はい、お答え願います。

○永正スポーツ振興課長 議長。

○議長（三野会長） はい、永正スポーツ振興課長。

○永正スポーツ振興課長 スポーツ振興課の永正でございます。

国のスポーツ基本計画ですが、総合型地域スポーツクラブの支援ということで、住民が主体的に参画する地域のスポーツ環境を整備するということを掲げております。政策目標といたしまして、総合型地域スポーツクラブの育成やスポーツ指導者、スポーツ施設の充実ということが記載されており、政策展開といたしましては、各地域の実情に応じた、きめ細やかな総合型地域スポーツクラブの育成促進ということが挙げられております。御質問のとおり、

国の基本計画に従って、本市の実情に合わせて次の基本計画に取り入れたいと考えております。

以上でございます。

○議長（三野会長） はい、落合委員さん、よろしいでしょうか。

○落合委員 はい。

○議長（三野会長） 他にございますか。

○議長（三野会長） 特段、無いようでございますので、協議事項アの合併基本計画に係る平成25年度および26年度の実施事業に関する意見に対する対応方針については、これで終わります。

会議次第4 その他

○議長（三野会長） 続きまして、会議次第4の「その他」でございます。

本日、予定している案件はございませんが、委員の皆様方で何か諮りたいということがございましたら、御発言をお願いいたしたいと思っております。

○坂本委員 議長。

○議長（三野会長） はい、坂本委員。

○坂本委員 石材産業の振興について御質問させていただきます。

経済情勢が非常に厳しいですが、この牟礼地区では、平成25年度にあじストーンフェアの開催とかを予定しておりますが、その開催を含めて石材産業の振興に対する助成等の平成25年度予算措置の見通しについては、現在、どのようなお考えでしょうか、お聞かせください。

○議長（三野会長） 御答弁、よろしいですか。

○上枝商工労政課長 議長。

○議長（三野会長） はい、上枝商工労政課長。

○上枝商工労政課長 商工労政課の上枝でございます。

平成24年4月にスタートした第3期まちづくり戦略計画におきまして、地域を支える産業の振興を重点取組の一つに掲げておりまして、石材を始め、漆芸、盆栽などの地場産品・産業の振興のため、「ものづくり基本条例（仮称）」の制定に取り組んでおります。特産品の販路拡大や伝統的工芸品産業における後継者の確保・養成を図り、本市の地場産業の活性化

化に努めているところでございます。

このような中、現在、平成25年度の予算編成時期に当たり、商工労政課としては、あじストーンフェアを始め、庵治石等の特産品の展示・PRを行い、その魅力を国内外へ発信するための予算を、引き続き措置してまいりたいと考えております。

○議長（三野会長） はい、坂本委員さん、よろしいでしょうか。

○坂本委員 はい。

○議長（三野会長） 他にございますか。

○議長（三野会長） 私から2点ほど加藤局長にお尋ねしたいと思っております。

まず1点は、この地域審議会のあり方についてと、もう1点は行政組織の再編についてということでございます。

局長は、この地域審議会については当初から関わっておられるということでございます。合併時に地域住民の生の声を市政に反映させるためにこの地域審議会を設置されており、合併時の平成18年1月10日から平成28年3月31日までの10年間という話で進んでおりますが、もうそろそろ終着駅に近づきつつあるというふうに私は感じておりますが、牟礼地区といたしましては、まだまだ事業を展開していただきたいと思っておりますので、その期間延長が現時点で考えられるのかをお尋ねしたいと思っております。

それからもう1点は、この8月30日に四国新聞の朝刊に高松市の高齢社会に対応するため、また更なる行政サービスの向上ということで、行政組織の再編構想が報道されていたと思っております。

現在の山田支所を含めて7つの支所と21の出張所があると理解しておりますけれども、その構想とは市役所を含めて7つの総合センターと22の地区センターに組換えをするというふうな記事であったと理解しております。総合センターの所管区域としては、市役所を中心にするもの、それから中部、東部北、東部南、西部北、西部南、南部というふうに分けるようでございます。それから、支所から地区センターや、あるいは、出張所から地区センターに移行するという記事であったかと思っております。

高松市は、2016年から新しい体制に移行するというところでございますが、この牟礼地区はその3番目の東部北に含まれることとございます。この牟礼と庵治、古高松、屋島が一体ということとございますが、この牟礼地区はどうようになっていくのかという思いが私自身にもありますので、もし今日、お答えを頂けるのであれば頂きたいと思っております。よろしくお願いいたします。

○加藤市民政策局長 議長。

○議長（三野会長） はい、局長どうぞ。

○加藤市民政策局長 市民政策局の加藤でございます。

まず1点目の地域審議会のあり方についてでございます。この地域審議会につきましては、合併協議に基づきまして、牟礼町の場合は合併基本計画ですが、建設計画の期間内において建設計画の進行管理をしていただく、また、それについての御意見を頂くという趣旨で設置をいたしたものでございまして、合併基本計画の期間の平成27年度までは地域審議会を設置するという事は合併協議で決まっております。

それで、その後をどうするのかという御質問であろうと思っておりますけれども、国におきましては、合併特例債は基本的に建設計画の期間内に適用ということでございますが、それを5年間延長する方針が決まっております。それについての建設計画や合併基本計画をどうするのか、詳しい情報を掴んでおりませんので、十分に見極めてから今後の対応を考えて、建設計画なり合併基本計画を延長するのかどうかということも含めて、地域審議会のあり方も考えていく必要があるのかなと思っております。

一方、高松市におきましては、コミュニティを軸とした協働のまちづくりということを進めております。ご当地の牟礼地区におきましては、むれコミュニティ協議会がございまして、一コミュニティ協議会ということでございますので、地域審議会とコミュニティ協議会との関係も整理をしていく必要があるのかなと個人的に思っております、そのようなことを勘案しながら今後の対応を考えていく必要があるのかなと思っております。

それともう1つは、地域行政組織のあり方でございます。これにつきましては、総務局のほうで担当しております、私も詳細なことは承知してはおりませんが、市内のブロック分けとして、現在は本庁と支所・出張所との2層構造を、本庁と総合センター（仮称）と地区センター（仮称）という3層構造に移行するという基本構想を、今般、取りまとめたところでございます。

その中で、総合センターにつきましては、現在、本庁で扱っております機能を幾つか総合センターのほうへ移して、住民の方がそこへ行けば、大抵の用は足りるというように機能の見直しを考えております。

今年につきましては、そこまでの作業でございますので、来年度に具体的な計画が策定される予定でございまして、その中で、先ほどお話がありましたように各ブロックごとの中心となります総合センターをどの地区に持っていかということも示した上で御議論をいただ

いて、来年度中には決定していきたいというふうなスケジュールと伺っております。

それをどういった形で決めていくかということですが、一方では、コミュニティ協議会にも御説明をさせていただいておりますとおり、コンパクトなまちづくりを進めております。市内中心部と各地域に幾つかの拠点を設定して、そこにある程度の機能を集約していかうということをして市の取組として進めておりますので、そういうことも総合的に勘案しながら、どこに総合センターを置くかということをして来年度において決めるということでございます。もう少しお時間を頂いて、来年度には次の姿が見えてくるものと思います。

以上でございます。

○議長（三野会長） はい、ありがとうございました。

他にございませんか。

○議長（三野会長） 無いようですので、会議次第4の「その他」は、これで終わります。

以上をもちまして、本日の会議は終わらせていただきますが、皆様方の御協力によりまして、非常に能率よくすべての事案が処理できましたことに御礼を申し上げたいと思います。

今日は早朝から本当にありがとうございました。

会議次第5 閉会

○事務局（畑本支所長補佐） ありがとうございました。

これをもちまして、平成24年度第2回高松市牟礼地区地域審議会を閉会いたします。

午前10時57分 閉会

会議録署名委員

委員 川浪正二

委員 坂本英之